

令和4年

雲南市議会 9月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和4年9月5日～9月8日】

令和4年雲南市議会9月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	9/5(月) 9時30分～	9／足立 昭二	一問一答	1～2	11	9/7(水) 9時30分～	7／宇都宮 晃	一問一答	23～25
2		10／中林 孝	一問一答	2～4	12		4／上代 純子	一問一答	25～27
3	9/5(月) 13時00分～	18／矢壁 正弘	一問一答	4～7	13	9/7(水) 13時00分～	14／白築 俊幸	一問一答	27～29
4		2／安田 栄太	一問一答	7～8	14		3／児玉 幸久	一問一答	29～32
5		13／原 祐二	一問一答	8～9	15		16／細田 実	一問一答	32～33
6	9/6(火) 9時30分～	11／松林 孝之	一問一答	10～12	16	9/8(木) 9時30分～	15／周藤 正志	一問一答	33～35
7		5／鶴原 能也	一問一答	12～14	17		8／上代 和美	一問一答	35～37
8	9/6(火) 13時00分～	6／梶谷 佳平	一問一答	14～15	18	9/8(木) 13時00分～	12／中村 辰眞	一問一答	37～40
9		17／藤原 信宏	一括	15～18					
10		1／多賀 法華	一問一答	18～23					

令和4年雲南市議会9月定例会 一般質問通告一覧表

令和4年9月5日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	9	足立 昭二 (一問一答)	1. JR木次線存続について 2. ふるさと納税推進事業について	<p>(1)「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」の提言書が公表された。提言書の現状認識と今後の取り組みについて質問する。</p> <p>①提言書の内容と市長の評価を問う。</p> <p>②提言書の「はじめに」の冒頭で「地域の公共交通は、地域住民の日常生活や社会経済活動の基盤として、地方創生の実現や岸田政権が掲げる『デジタル田園都市国家構想』の実現に不可欠な存在であり、そのネットワークの維持・活性化を図ることは極めて重要である」と基本的な考え方が示されている。JR木次線存続との関連ではどのように理解しているか。</p> <p>③市長施政方針では「廃線を前提としたり、あるいはそれに向かう手続きとしての協議会になったりしないように」と危惧されている。私も同意見だ。</p> <p>この間、市長・市議会・県知事をはじめ関係市町村で申し入れしてきた「鉄道事業法の改正」などの要望は置き去りになるのではという心配をしているが、市長はどのように受け止めているか問う。</p> <p>④今後の課題として、利活用は示されているが存続に向けた取り組む課題について問う。</p> <p>(1)「ふるさと納税」制度が導入された背景は何か問う。</p> <p>(2)2021年度の「ふるさと納税」の寄附者数、寄附金額(個人最高額)、クラウドファンディング実施数と事業内容を問う。</p> <p>(3)8月18日に開催された総務常任委員会で「企業版ふるさと納税</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 安倍晋三元首相の「国葬」について	<p>を活用した民間主体によるデジタル人材育成事業」について提案された。「企業版ふるさと納税」（「地方創生応援税制(まち・ひと・しごと創生寄附活用事業)」)についての説明と導入された背景、「ふるさと納税」と相違点は何か問う。</p> <p>(4)「企業版ふるさと」納税による事業はこれまでにもあるか問う。</p> <p>(5)「ふるさと納税」制度は、国の法律改正が行われ事業実施されている。自治体にとっては、制度活用は理解するが、こうした「ふるさと納税」に期待しても地方創生は厳しいと考える。都市と地方の格差解消する根本的な地方財政確立にはならないと考える。市長の所見を問う。</p> <p>(1)7月8日、安倍晋三元首相が、参議院選挙の街頭応援演説中に銃撃され死亡した。加害者の動機等に関わらずその行為自体が民主主義に対する重大な脅威であり許されるものではない。一方、岸田内閣は、9月27日に安倍元首相の「国葬」を行うと決定した。この決定は、法的根拠はなく、民主主義の観点、国民の思想・信条の自由の観点からも危惧するものであり反対する。各報道関係の世論調査では、賛成・反対拮抗している。今回の安倍元首相の「国葬」について市長、教育長の所見を問う。</p> <p>(2)政府から「国葬」にあたっての要請等が来ているか問う。</p> <p>(3)全国のいくつかの自治体の教育委員会では、安倍晋三元首相の葬儀の日に半旗掲揚を求めていると報道されている。教育長は「国葬」当日に半旗掲揚や黙とうなど各学校に要請を行う考えか問う。</p> <p>(4)市長部局の対応についても問う。</p>	
2	10	中林 孝	1. 加茂バスストップ	(1)加茂バスストップの移転オープンはいつか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	<p>プについて</p> <p>2. 木次線対策について</p> <p>3. 堅確な公務のあり方について</p>	<p>(1)本市は木次線存続に本気で取り組む覚悟があるか、廃止もやむを得ないと考えるか。</p> <p>(2)木次線の直近の輸送密度について伺う。通勤で木次線を利用している本市の職員はどれくらいいるか。また、県庁などの出張の際にどれくらい利用しているか。</p> <p>(3)人口減少以上に利用客が減少している現実をどう捉えるか、それに対しどのような対策が必要と考えるか。</p> <p>(4)今年7月、国がまとめた「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道のあり方に関する提言」(鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会編、以下、「提言」)をどのように評価するか。</p> <p>(5)本市は提言に示されている協議会の設置を望むか。望む場合、島根県および近隣市町、広島県側と連携は取れるか。また、協議会を設置する場合、本市にとって最良の結果を導くためにはどのような協議、交渉を行う必要があるか。あるいは協議会を設置せず、鳥取県のように別の話し合いの場を設置するか。</p> <p>(6)提言に示されている協議会を設置すると自治体の役割、責務は大きくなる。自治体としての責務が果たせるか。また、提言では国の主体的な関与を求めているが、関与だけでなく国としても相応の責務を果たすべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(1)今年、大東総合センターで準公金横領事件が発覚した。本市の公務において、このような公金(含、準公金)や重要物件に関する事故や事件はどのようなものがあったか。原因と対策を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2) 公務において現金以外に重要物件として扱っているものに何かあるか、その保管、管理体制について伺う。また、現状のその取扱いで問題点はないか。</p> <p>(3) 7月末、指定金融機関である山陰合同銀行の市役所派出所が廃止となった。その他、山陰合同銀行の店舗が無い町の総合センターもある。公金の保管や授受などの取扱いはどうなっているか、支障や問題点はないか。</p> <p>(4) 振込等、外部事業者とのデータの收受や資金決済方法について伺う。また、現状のその取扱いで問題点はないか。</p> <p>(5) 機密情報へのアクセス権限、アクセス履歴の把握は必要ないか。</p> <p>(6) 昨年、サイバー攻撃によって業務に支障が出た公立病院があった。ロックビットは「病院を狙う」と予告し、別の病院が被害に遭った。雲南市立病院のシステムのセキュリティに問題はないか。</p> <p>(7) 監査は行き届いているか。問題点はないか。</p>	
3	18	矢壁 正弘 (一問一答)	1. 人口維持対策について	<p>第2次雲南市総合計画の改訂により目標人口が下方修正された。</p> <p>(1) 現在の人口減少率から判断すれば修正はやむを得ないが、下方修正にあたっての市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 令和6年度の目標人口が、国立社会保障・人口問題研究所推計数値より下回っている。改訂は少し弱きな数値と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 第2次総合計画は令和6年度までの計画だが、今後2年間、特別な施策の考えはあるのか。</p> <p>(4) UI ターン者に特化した施策も重要だが、在住者への施策の拡充が必要では。</p> <p>(5) 人口減少が著しい地域への重点的な対策も必要と考えるが見解</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 身近な災害対応について</p> <p>3. 市営住宅の状況について</p> <p>4. 学校、教育について</p>	<p>を伺う。</p> <p>(1)今年も各地で豪雨による河川氾濫の災害が発生している。本市内の河川の堆積土の撤去、立木の伐採について、県と協議の上進んでいるとは思いますが不十分と考える。特に支流部は未だ手つかずの箇所が多い。対応を伺う。</p> <p>(2)自然災害ではないが、火災も災害の一つと考える。火災現場の後処理について、個人での処理は当然と考えるが、火災廃棄物の処理場への受け入れのハードルが高く1年を経過しても片付かないと聞く。自然災害による災害ゴミ処理計画同様の対策が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)平成31年度策定の雲南市公営住宅等長寿命化計画において、基町、中村、西の宮団地の建て替えが示されているが、計画の通りに進んでいるのか。</p> <p>(2)建て替え計画や用途廃止が予定されている住宅団地については、空き家となった時点で政策空き家となっている。以前、政策空き家対策も計画に挙げ管理すべきと質したが対策は取られているのか。</p> <p>(3)現在、空き家となっている住宅は大変荒れた状態になっており、取り壊し等の対応が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)住宅敷地内の環境も荒れた状態にあり、年1回は市により管理されているようだが、後は入居者任せとなっているようだ。改善が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)学校設備の点検について</p> <p>①2021年に宮城県の小学校で防球ネットが倒れ、児童2人が死傷した事故を受け全国の県庁所在地の小中学校を対象に詳細な点検が実</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>施された。結果、定期点検で発見できなかった問題が 1000 箇所を越すことがわかった。本市でも令和 3 年 6 月に大東中学校で 3 階ベランダの手摺が老朽化し落下する事案が発生している。その後の点検・管理修繕は的確に行われているのか。見逃している箇所はないか伺う。</p> <p>②事故が発生した宮城県白石市では学校安全委員会を設置し、児童生徒や保護者、専門家を含めた「多角的な視点」で点検が行われている。児童生徒にしか分からない危険への気づきがあると感じるが、本市も取り組んで見ては。</p> <p>③校内だけでなく、通学路に潜む危険など多様な場所での危険の察知が可能と感じるが、児童生徒から危険箇所のアンケートを取るなど対策も必要と思うが見解を伺う。</p> <p>(2)教育について</p> <p>①文部科学省は、近く改訂する学校教員用の手引書「生徒指導提要」に LGBT など性的少数者の児童生徒への対応に関する項目を盛り込むとしている。本市の教員に向けての指導研修等の取り組みについて伺う。</p> <p>②日本世論調査会が実施した全国世論調査で、親の収入などの境遇で人生が決まると思う人が「どちらかといえば」を含め 73%あり、若年層ほど高い傾向にあるとの調査結果だったとの報道があった。若者の間では、境遇の違いによって生まれた格差で将来が決まることを意味する「親ガチャ」という言葉がある。本市内の傾向はつかめているのか。</p> <p>③教育の現場として、自分の未来は自分自身で切り開くものである</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 上水道事業について	ことの重要性をしっかりと伝えていくべきと感ずるが見解を伺う。 (1) 上水道整備事業の際、諸事情により引き込みを断念された方で、昨今の異常気象により自家水道の出が悪くなり上水道の引き込みを希望される方への支援が皆無だ。支援の考えはないか伺う。	
4	2	安田 栄太 (一問一答)	1. 大東公園多目的 広場の改修につ いて 2. コロナ禍での市 内経済について 3. デジタル教育に ついて	(1) 大東公園多目的広場の改修について 3 月定例会で一般質問を行った。その後について伺う。 ①「利用される方々のご意見を伺い整備内容を詰めていく」とされたが、利用者の声をどのように聴いたのか。また意見内容は。 ②現在、実施計画等具体的な計画は立てているのか。 ③今後もドクターヘリの臨時離着陸場として活用するかについて、県と協議を進めていくとされたが、その後どうなったのか。 (1) 新型コロナウイルス感染症拡大第 7 波が来ている。併せて、原油高騰、物価高や最低賃金の引上げなど、事業者にとって厳しい状況にある。 ①岸田首相は、食料、エネルギーに関して地域の実情に応じて、きめ細やかな支援を展開すると示された。市内経済の実情をどう捉えているか。 ②コロナ関連融資の返済が始まってきている。感染拡大の収束が見えない中、事業者の大きな不安材料になっているが対策が必要ではないか。 (1) デジタル技術の進歩が目覚ましい現代において、プログラミング教育が必修化となった。Web3.0 の世界が主流になっていくと言われる現在において、IT 人材の育成は重要と考える。 ①優秀な IT 人材は世界中の企業から需要がある。IT 人材の育成に	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市内公園について	<p>力を入れることは、企業からの注目を集めやすく街の魅力になると考えるが、本市の見解を伺う。</p> <p>(2)本市のGIGA スクール構想の現在について伺う。</p> <p>①指導人材の確保やアドバイザーなどの支援体制はどうなったか。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症による休校の期間に家庭でタブレットを使った学習がなされていないと保護者からの声を聞いたが、休校中や休日のタブレットの活用はどうなっているのか。</p> <p>③デジタル教育において一番大切なことは情報リテラシーだと考えるが、本市のGIGA スクールではどのように行われているか。</p> <p>(1)コロナ禍で市内外から公園やキャンプ場に遊びに来る家族連れが多くなっている。</p> <p>①遊具について、老朽化などの理由で使用禁止になっているものがあり、危険度を考慮して順次修繕、撤去、改修を行うとされていたが、現在の状況を伺う。</p> <p>②公園内の案内看板、銅像などの説明書きや観光マップが剥がれ読めない状況の物がある。改修すべきだと考えるが、市の見解を伺う。</p>	
5	13	原 祐二 (一問一答)	1. コロナ感染への対応について	<p>(1)現状(第7波)における、濃厚接触者の定義と実態、行政からの連絡状況を問う。</p> <p>(2)陽性者と同居する家族など、濃厚接触者への対応状況(自宅での待機期間・行動制限等)、市広報等での周知状況を問う。</p> <p>(3)濃厚接触者の不安解消に向けた、現状の検査体制と感染抑制への取り組みについて問う。</p> <p>(4)島根県が実施する無料検査終了後、ウィズ・コロナに向けた検査</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 超高齢化地域への支援について</p> <p>3. 市民への補助金等について</p>	<p>対応(市独自での無料検査・抗原検査キットの購入助成等)について、市長の所見を問う。</p> <p>(1) 超高齢化地域に対して、加算している交付金・補助金・助成金等の事業(種別)を問う。</p> <p>(2) 超高齢化地域への交付金・補助金・助成金等の支援目的、加算(算出)方法と見直しの有無を問う。</p> <p>(3) 交付金・補助金・助成金等の支援(加算)については、65歳以上の年齢を基準とする高齢化率による算出から、0歳から19歳の人口比率や75歳以上の人口比率等による、算出方法の見直しについて問う。</p> <p>(4) 超高齢化地域への支援について、市長の所見を問う。</p> <p>(1) 本年度末で効力を失う、交付金・補助金・助成金等の件数及び主な名称(事業名)を問う。</p> <p>(2) 規則や要綱の見直し状況と関係者や議会への説明スケジュール、継続事業・見直し事業について、新年度予算への計上・スケジュールを問う。</p> <p>(3) 主要事業における、事業期間の総括(決算等)及び今後の方針について問う。</p> <p>① 高齢者支援(高齢者等運転免許自主返納、高齢者等のバス・タクシー利用料金)</p> <p>② 農業者支援(就農サポート、農業担い手フォローアップ、地域農業サポート)</p> <p>(4) 原油価格・資材単価の高騰、ウィズ・コロナへの新たな支援について、市長の所見を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 地域のデジタル 化について	<p>が、第1次方針は令和3年度末をもって終了であり、第2次方針は令和3年度中に策定すべきではなかったか。</p> <p>(2) 令和3年度の行動計画で方針決定を予定していた施設が置き去りにされている物件が多いのはなぜか。</p> <p>(3) 体育館・野球場施設では幡屋体育館以外は、一向に進捗度が見えない。8年後に国スポを控えているが全体構想をいつ示すのか。</p> <p>(4) 「雲南市ホール施設整備保全計画」において、加茂文化ホールラメールの劣化健全度は30/100点と大規模改修が必須である。中期財政計画では本年度中の調査となっているが進捗状況は。</p> <p>(5) 市内の校舎では加茂中学校が最も築年数が経過している。校舎整備と共に義務教育学校制度の検討も含め幅広い協議を進めるには相当の時間を有するが、進んでいるのか。</p> <p>当初予算で計上された電子地域通貨導入事業の中止は残念であるが、地域のデジタル化にストップをかけてはならない。</p> <p>(1) 通貨ではなく地域ポイント推進事業として展開を提案するが所感を伺う。</p> <p>① 商工会と協働で地域内でのポイント事業をデジタル化、広域化、更には行政ポイント(ボランティア・健康増進等)を付加する市全域で統一した事業の構築を検討してはどうか。</p> <p>② 官民協働による「まちのコイン」という、デジタルポイントで域内外からの関係人口づくりやSDGsの普及にもつながる事業が始まっている。スマートフォンを使っての事業であり、市民にデジタル化を体感してもらうにはいい事業と考えるが如何か。</p> <p>(2) 松江市は「みんなにやさしいデジタル市役所計画」としてデジタ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 空き家(危険な 空き家)対策につ いて	<p>②奥出雲産直振興推進協議会から脱退する組合員が多いと聞かすが、 会員数と出荷会員数の推移と現状を問う。また減少の原因分析と対 策を問う。</p> <p>③食品衛生法の改正で、これまで許可不要で漬物の製造を行ってい る人は全て令和 6 年 5 月 31 日までに許可を取得しなければならない が、今後加工事業にどのように取り組む考えか問う。</p> <p>(2) 畜産の振興について</p> <p>①全国和牛能力共進会開催の目的と意義を問う。</p> <p>②和牛肥育センターの運営事業から撤退する方針を決めた JA しま ねに対し、事業の継続を求められたが、雲南市にとって肥育センタ ー存続のメリットは何か問う。</p> <p>(3) 鳥獣被害防止の取り組みについて</p> <p>①令和 3 年度、月毎のイノシシ捕獲頭数を問う。</p> <p>②令和 3 年度、イノシシ食肉処理施設の月毎の持込(処理)頭数及び 施設従業員数を問う。</p> <p>③今年度の事業で、今後のイノシシ捕獲頭数の増加を見込んだ商品 化と販売先の確保、事業化の可能性、そして食肉処理施設整備につ いて検討するとされているが進捗状況を問う。</p> <p>(4) 新たな雲南市農業ビジョンは策定されるのか。また基本方針、基 本施策の考え方を問う。</p> <p>大東町市街地において近年「空き家」、特に適切に管理されていな い「危険な空き家」が多くなった。地域団体要望書が提出された案 件も所有者は既に死亡、子ども(1 人)は他家の養子となり、相続も 放棄され家も適切に管理されないことから「危険な空き家」となり</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>市において応急措置がされた。この案件の場合この空き家の管理義務は民法第940条の規定により相続放棄人が負うが、令和5年4月1日施行の民法・相続法改正により、この相続放棄人は現に「家を占有」していないことから管理責任はないと解される。今回の法改正を踏まえ、今後の空き家、特に「特定空き家」対策について考え方を問う。</p>	
8	6	梶谷 佳平 (一問一答)	<p>1. 公共施設等総合管理計画について</p> <p>2. 産業振興について</p>	<p>市民の税金で取得した市有施設等の財産が使用目的を終了した場合、速やかな再利用・処分等の調査・検討を行う必要がある。市民の共有財産をいかに守り、平等に有効・有益に活用するかは税金を預かる市職員の重要な責務である。その責務を果たすため、市有財産活用推進室の設置を計画したが、今後、今までよりはるかに速いスピード感を持った対応が必要である。</p> <p>(1) 市有財産活用推進室の設置が計画されたが、この部署は、スピード感を持って活動する必要があり、加えて権限も重要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>コロナ禍で多くの産業が疲弊している中、ロシアのウクライナ侵攻を背景に資源高や原材料高が続き、加えて円安がさらに拍車をかけている。電気料金も上昇している。6月議会において、雲南市事業復活支援金を補正し市内企業の支援対策を実施した。8月臨時会において執行部から飲食・旅客を含む運送業、タクシー(福祉タクシーを含む)・畜産業への支援が提案された。</p> <p>(1) この提案があった支援先へ納入している事業者や農林水産事業者への支援策は考えているのか伺う。</p> <p>(2) 農林水産業振興のため、学校給食における地元食材の使用率アッ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 子育て支援について 4. GIGA スクール事業について	<p>プが重要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>6月議会で、発達障がい・遅延を早期に発見するため、子育てで悩む保護者のため内閣府はいつでもどこでも相談対応・連携が必要と紹介した。雲南市は、幼稚園や保育園に通っていない子には、保健師・母子健康包括支援センター「だっこ」・雲南市子ども家庭支援センター「すワン」等の子育て支援施設の利用が可能と回答されたが、保護者の中にはすワン・だっこを知らない人もいる。特に市外から来た人は知らない。</p> <p>(1)市の子育て支援体制やすワン・だっこを知らない人はどこに相談すればよいのか伺う。</p> <p>(2)内閣府はすべての子育て支援事業所での連携・対応が必要と考えていると紹介したが、出産前から子育て支援の関連事業等への参加を促し、保護者が行きやすい環境を整えているのか。子育て支援の相談窓口・日時を母子手帳にQRコードを付け、知らせる仕組みも必要ではないか。</p> <p>GIGA スクール事業において、教職員の長時間労働が取りざたされている中、小中学生向けのIT支援は、「教員以外の専門家の投入が進んでいない」、「島根県はタブレットの活用時間が他府県より少ない」との新聞報道があった。雲南市の状況はどのような状況か市の見解を伺う。</p>	
9	17	藤原 信宏 (一 括)	1. 成年年齢引き下げに対する支援策について	(1)本年4月から、成年年齢が18歳に引き下げられた。懸念されるのは、簡単に取り消せなくなる新成人の契約、消費者トラブルである。近い将来成人を迎える中高生を対象に自立心が養われるよう、成年年齢引き下げによる環境に対応した実践的な消費者教育と、新	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 領土教育の充実 について	<p>成人が犯罪や悪質商法の被害に巻き込まれないための市の積極的な注意喚起、周知活動の取組みについて伺う。</p> <p>(2) 消費者契約は18歳に満たない者でも結べるので、早くから、お金の大切さや将来に備えることの重要性、消費者被害に遭った時の相談先などを具体的に教えることが必要だ。18歳成人に備えるのみならず、小学校高学年から消費者契約と、同時に消費行動に関する倫理教育を深めるべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(3) 悪質商法被害に適切に対処するため、関係機関とどのように連携を図っていく考えか。</p> <p>(4) 校則・生徒心得や指導など、高校のポリシーで生徒の行動を一定程度、制限する事はできないか。また、保護者への発信を強め、3者面談など、話し合いの機会を増やす高校での対策が必要と考えるがどうか。</p> <p>北方領土、竹島、並びに尖閣諸島は、日本固有の領土であるが、正に「日本列島、四海波高し」の状況にある。ケジメの有る外交を進めるには、国民世論の喚起、後押しが欠かせない。国民全体が領土についての正しい知識と理解を持つこと自体が、国の安全保障上の抑止力として大きく働くものとする。</p> <p>(1) 次世代の国民を育成する国民教育は、自国の領土・領海についてシッカリと教える義務があり、主権者教育の最重要事項である。小中学校において、竹島に限らず、日本の置かれている厳しい安全環境を見据え、安全保障を踏まえた適切で十分な領土教育が行われているか、教育長の所見を伺う。</p> <p>(2) 竹島の日を定めた島根県では、身近な問題として竹島学習を重視</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 交通安全対策について	<p>し、全ての小・中学校及び高校において、多様な教育実践を展開しているが、全国に及ぶ状況に至っていない。もっと島根から竹島学習等の全国展開を働きかけるべきと考えるが、どうか。</p> <p>(3)子ども達だけでなく、多くの国民、市民がもっと関心を持つ必要がある。領土問題に関する冊子の配布や市民講座の開催など、地域や市民の関心を高め、理解を深める広報・啓発努力が必要ではないか。</p> <p>(4)国際社会とそのルールを学ぶことが主眼で、領土学習によって児童・生徒が「嫌韓・反韓意識」等を抱くような感情論に陥らせてはならない。そうした注意喚起についてはどう配慮、対応する考えか。</p> <p>(1)全国の交通事故死亡者数は減少傾向にあるが、歩行者による事故、とりわけ横断中の痛ましい事故を減らすことが課題となっている。信号のない横断歩道での「手上げ横断歩行」が43年ぶりに教則に復活した。この手上げ横断について、市民を守るため市が関係機関と連携し、子どもから高齢者まで、あらゆる機会やツールを通じて、積極的に発信・啓発していくべきと考えるが、取組みについて伺う。</p> <p>(2)乗車中の自転車は車両に分類され、横断歩道付近で自転車に乗ったまま待機していても、自動車は車道を進行できるのがルールである。自転車は車両であるとの認識を一層高め、ルールの周知を図ると共に、自転車が横断歩道を渡る際は、降りて押して渡ることを推奨していくべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)道路上に張り出す樹木は、車両の通行の妨げになるだけでなく、交通事故に繋がる恐れもある。道路環境の維持を図り交通の安全を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				確保するため、早期に全域を点検し、所有者への伐採願いも含めて、緊急度や重要路線など優先順に、計画的な沿線樹木の伐採(陰切り)・枝切り作業を実施されたいがどうか。	
10	1	多賀 法華 (一問一答)	1. 子育て支援について	<p>(1)産前産後ケアについて</p> <p>①6月定例会の一般質問で、産後ケア事業の利用状況について新型コロナウイルス感染症対策で利用ができない時期があり減少しているというような答弁があった。令和元年6月定例会の一般質問でも利用状況の質問や当初予算がどんどん縮小されているという課題が提示されていた。そもそも新型コロナウイルス感染症前の平成29年度がデイケア2件、令和元年度もショートステイが3件、デイケアが2件ということで、利用状況が少ないのはコロナ禍以前の課題である。益田市の産後ケアの利用状況は、令和2年がデイサービス180件、令和3年がデイサービス155件と聞く。益田市の方が人口約44,500人で、雲南市より人口が多いとは言え、桁違いの利用率である。令和元年の一般質問で「利用が少ないという課題としては、需要がないのか、使いにくいのか」と答弁されていた。本当に需要がないのか、あるいは使いにくいのかという調査・ニーズの掘り起こしは、どのようにされてきたのか、内容と結果を伺う。</p> <p>②前回の6月定例会の一般質問への答弁で、「この事業を使える方は、特に育児等の支援が必要で、かつ心身の不調または育児が不安になる方、困り事の強い方に対して、お勧めしている。」ということだった。利用者を限定するのではなくこのショートステイやデイケアは、産後鬱になる前に使えるものとされたい。使える方が限定されることは、子育てするなら雲南市と反するのではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 災害対策について	<p>③産前産後ケア事業は、公的機関だけでなく、雲南市内の民間事業所への委託は考えられないか。</p> <p>④令和元年6月定例会の一般質問の答弁で、「産前産後ケア事業は、母と子の心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができる支援体制を確保することを目的としており、妊娠・出産・産後の支援を取り巻く多職種をつなぐ場として、雲南保健所においては周産期看護連絡会が設置され、連携に努めている。」とあった。現在の周産期看護連絡会の状況はいかがか。会の頻度、それぞれの機関の役割や連携の仕組み作りなどどう話し合われているか、ニーズや解決策について伺う。</p> <p>(2)産前産後訪問サポート事業について</p> <p>①産前産後の時期に家事や育児援助が必要になった時に使える産前産後訪問サポート事業ができたことは大変素晴らしい。こちらの利用状況について伺う。</p> <p>②さらに利用をしていただくために、周知も必要だが、チケット制の導入の提案をする。使われるか使われないかは別として、妊娠の届出があった時点で、この家事育児援助のチケットをお渡しすると使いやすくなるのではないかと思うがいかがか。</p> <p>③現在、雲南市シルバー人材センターへ委託をされているが、例えば、民間の家事・援助のサービスを使った場合にも何かしらの補助が出るなどの仕組み作りはされないのか伺う。</p> <p>(1)現在、市は、避難行動要支援者の個別避難計画の作成に係るモデル地区の公募を地域自主組織にされている。昨年5月に「災害対策基本法」が改正・施行されたことを受け、避難行動要支援者の避難</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>行動支援に関する取り組み指針を改定・公表になったことがこの取り組みをする根拠となっている。また、地域との話し合いの中でも、「介護支援専門員などの専門機関の関わりのもとで作成した方がより実行性のあるものになる」というご提案もあったと聞いている。今回、モデル地区になったところで、避難行動要支援者連絡会議（仮称）を開催することが例としてあがっていた。この参加者として、地域自主組織・自治会・個別避難計画担当・防災担当・福祉避難所設置運営担当・地区担当保健師・生活支援 CN・社会福祉協議会・民生児童委員・福祉専門職などがあげられており、部署を超え、そして専門事業者とのチームが組まれるということで大変期待している。チームを組んで、実行性のある避難計画をつくるために、個人情報取り扱いについてきちんと平常時から関係機関と情報共有できるように仕組みは作ってあるか伺う。</p> <p>(2) チームを組んで専門の事業者の方に協力を求める場合、特に今もかなり忙しい介護支援専門員さんや相談支援専門員さんへの費用負担についての課題があるかと思う。兵庫県では、「ケアプランに合わせて個別避難計画を作成する場合、1件7,000円の報酬を介護事業所などに支給」といった取り組みをすでにされていると聞く。国の見解は、ケアマネージャーさんだけに限らず、計画策定に関わることであれば使えるとのことだった。雲南市は地域自主組織があるおかげで個別避難計画が出来ているところが多いとは思いますが、新たに作成したり、避難行動要支援者連絡会議（仮称）を通じて実行可能な避難計画になるように修正したりすることに時間や労力がかかるのではないかと思うが、そうした報酬については今後どのようにお</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>考えか伺う。</p> <p>(3) 個別避難計画と福祉避難所開設の連携について伺う。国には、1次避難所、2次避難所という言葉はなく、状況を見て必要な方が必要な場所に避難するという考えであると私は理解した。今福祉避難所の対象者は、「特別な配慮を必要とする「要配慮者」という」となっており、現在作成している避難行動要支援者の対象者の中にふくまれていると思われる。現在作成されている個別支援プラン・マイ避難プランのどちらにも避難所を記載するところがあり、福祉避難所の欄もあると思うが、何人の方がチェックされているか。各町の現状を伺う。</p> <p>(4) さきほどの、モデル地区になったところで開催されると思われる避難行動要支援者連絡会議(仮称)で、今できている個別避難計画の対象の中から、福祉避難所への避難が妥当である方の絞り込みが出来ると思う。「要配慮者」に該当すると思われる方を事前登録制とし、災害時の行政職員の人数確保の点からも簡略化ができると思われる。また、福祉避難所になるかもしれない場所の方も事前に誰が何人くるということが分かりシュミレーションしやすいと思うがいかがか。</p> <p>(5) 福祉避難所は、基本ご家族がいることが前提となっている。雲南市は一人暮らしの高齢者の方も増えていると思われる。ご家族が来られるまでの専門のボランティアスタッフなどの確保が必要と思うが、その点はどのようにお考えか。こういったこともモデル地区の避難行動要支援者連絡会議(仮称)の中で検討できると思うがいかがか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(6) 去年の豪雨災害では、認知症の方や精神障がいの方などの避難の対応で課題になったことはなかったか。</p> <p>(7) 普段と違うことが起きた場合に配慮が必要な方に対しては、避難行動要支援者連絡会議(仮称)の専門チームで事前にどういった避難方法が良いかを協議する必要があるかと思うが、日頃から認知症の方や障がい特性等を学ぶ福祉理解の住民勉強会や研修会をして、地域力をあげておく必要がある。認知症や高次脳機能障がい、発達障がい、精神障がいなどは見た目では分かりにくく、困っているかどうかさえも分からないことがある。特に精神障がい、例えば統合失調症や双極性障がいたと、絶好調と絶不調の波がいつ起こるか分からないので、鬱症状の時に怠けていると思われる傾向がある。避難所の運営が手伝えず非難されたり、知られたくない思いもあり、我慢して孤立したり、症状が悪化したりする可能性がある。今でもそういった勉強会は地域によってされていると思うが、明確な目的を持って勉強会を開催することでより効果ははかれると思うが、いかがか。</p> <p>(8) 今回モデル地区は手上げ方式でやっていくということだったが、どこの地域も必要であると思う。災害対応は、市民の命に関わる部分であり、事前にできることは行政主導ですすめるべきと考える。地域の主体性を大事にしつつ、こうした命に関わることは手上げ方式ではなく、行政主導で全地域対象にやるべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(9) 要配慮者の方以外でも避難に困られる方の中に、ペットを飼っておられる方もおられると思う。ペットは家族。去年の豪雨災害で分</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>かったが、いざとなった時に雲南市にはペットも一緒に住める公営住宅がない。避難生活が長期となった場合、ペットと一緒に避難できる場所の確保が必要と思う。その点についてどのような対策を検討されているか伺う。</p>	
11	7	宇都宮 晃 (一問一答)	1. 食料・農業を取り巻く状況について	<p>人口減少や高齢化に伴って、日本の市場規模は減少するのに対し、世界の農産物市場は拡大していくと考えられる。国内外の市場の変化にかんがみれば、農林水産業の国際競争力を強化し、輸出産業への成長を目指した強い農林水産業の構築が急務である。</p> <p>(1) 日本の人口は2020年の1億2,586万人から30年後の2050年には20%減少の1億1,900万人と予想されている。一方、世界の人口は78億人から30%増加の98億人と予想される。雲南市の人口は2020年に比べ30年後はとなると予想されるのか伺う。</p> <p>(2) 国内では人口減少、高齢化に伴い、市場規模は縮小、世界の農産物市場は拡大していくと考えられる。この状況に対して、雲南市では農林業の構築をどのような考え方で進められるのか伺う。</p> <p>(3) 農林水産省の発表によると、2021年度のカロリーベースの食料自給率は前年度より1ポイント上昇し、38%だった。品目別の自給率(重量ベース)はコメが1ポイント上昇の98%、小麦が2ポイント上昇の17%、大麦が1ポイント上昇の7%、野菜は1ポイント下落の79%、魚介類は2ポイント上昇の57%だった。また、20年度の都道府県別の食料自給率(カロリーベース)では、島根は60%であった。これらの結果と比較し、雲南市の分析結果を伺う。</p> <p>(4) 政府は食料安全保障の観点から30年度に全体でカロリーベースで45%、生産額ベースでは75%に引き上げることを目指している。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 全国学力テスト、アンケート調査について	<p>雲南市の目標について問う。</p> <p>(5)農林水産省は、2023 年産の主食用米の作付面積が前年より 4.3 万ヘクタール減りそうだと発表した。平年並みの作柄なら 22 年産の生産量は、673 万トンとなる。コメの価格は 2 年連続下がっているが、需給安定目安が達成され、値上げの波がコメにも到来しそうで期待されるが、市の見解を問う。</p> <p>文部科学省は、小学 6 年と中学 3 年の全員対象で 4 月に実施した 2022 年度全国学力テスト、アンケート調査の結果を公表した。自ら考える力を養う「探究学習」を重視する新しい学習指導要領が、小学校ではおとし、中学校では昨年、本格導入された。ひとりに 1 台ずつ配られた情報端末の活用も始まった。こうした指導方法が大きく見直されつつあるなかでの学力テスト、アンケート調査である。学力テストは国語、算数・数学に加え理科も出題された。都道府県別平均正答率を見ると、島根は中学の国語を除き他の教科は全国平均を下回った。</p> <p>(1)雲南市の小学校、中学校の各教科別の平均正答率を問う。</p> <p>(2)島根の算数・数学は低迷が続いているが、特に低い分野は何か、それに対する対応策は図られているか問う。</p> <p>(3)最も平均正答率が低かったのは中 3 理科で 49.7%。問題の難易度を調整していないため単純比較できないが、前回テストから 16.8 ポイント下がった。島根はさらに低い結果であるがどのように分析されているのか問う。</p> <p>(4)理科での実験・観察頻度は新型コロナウイルスの影響で大きく減ったようであるが、雲南市の小・中学校での状況を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(5) 島根県内の小・中学校の授業での ICT 機器の活用が、全国に後れを取っているようであるが雲南市の状況を問う。</p> <p>(6) 新聞を読むと、正答率が高くなる調査結果が示されたが、雲南市小・中学校図書館の新聞購読予算と購読紙数の現状を問う。</p>	
12	4	上代 純子 (一問一答)	<p>1. コロナ禍におけるストレス対策について</p> <p>2. 若者ケアラーへの支援について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス禍で、学校生活を送る子どもたちの中にはストレスをかかえる子が増えていると聞く。雲南市においてもこうした状況はないのか伺う。</p> <p>(2) コロナ禍の長期化で、小学校高学年から中学生の子どもの 1～2 割にうつ症状が見られ、家庭内で抱え込む傾向も浮き彫りになっているとのことである。雲南市での相談体制や対応策はどうか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染拡大により、様々な行動が制限され、生活が変化したことの影響で登校意欲の減退など、子どもたちの引きこもりや不登校に繋がっていないか伺う。</p> <p>(4) 公立中学校の休日の部活動の地域支援について、雲南市はモデル事業を実施し、教員の負担の軽減に向かって行動されている。一方では、コロナ禍による新たな指導などへの対応によって、教員の負担やストレスが増加していると感じる。教員の負担軽減への対応はどうか。</p> <p>(1) 18 歳から概ね 30 歳代までのケアラー、いわゆる若者ケアラーの実態があるとするならば、進学や就職、キャリア形成、仕事と介護の両立、人生設計など、若い世代固有の課題があると考え。その支援が必要ではないかと考えるが、雲南市はどう取り組むのか。</p> <p>(2) 中学校から高校、高校から大学や専門学校に進学または就職する進路相談時にヤングケアラーである子どもに気付けることがある。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. トイレへの配慮 について</p> <p>4. 災害時の避難所 について</p>	<p>子どもの将来のためにも、このタイミングを逃さないことが大事だと考えるが、学校での対応方法について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(1) 前立腺がんや膀胱がん、直腸がんなどの患者さんの悩みの一つに、パッドなどの処理に困ると聞く。男性トイレの個室にもサニタリーボックスを設置してはどうか。</p> <p>(2) 最近は男性の育児参加も積極的になっているが、公共・商業施設の男性用トイレに、オムツ交換台やベビーチェアの設置も必要になってくるのではと考える。トイレに設置ができない場合は、男性でもオムツ交換や授乳ができるベビー対応室などの設置も考えられる。今後ますます、男性の育児参加を進めるためには、こうした対応が重要と考えるがいかがか。</p> <p>(1) 過去には大規模災害時に、断水などで多くのトイレが使えなくなり、不衛生なトイレ状況下によって体調を壊す避難者が後を絶たなかったとの事例がある。雲南市では災害用のトイレの備えは十分か。</p> <p>(2) 災害時には、自分の身を守ることはもちろんだが、家族の一員であるペットを飼っていらっしゃる方は、安全に同行避難をすることが基本だと感じる。そのためには、事前にペットと一緒に避難所で生活することを想定した様々な準備が重要とされるが、どのような対応を考えているのか伺う。</p> <p>(3) 食物アレルギーのある住民が食事に不安を覚えて避難をためらったりするケースがある。現在、食物アレルギーに配慮した保存食を備蓄されているが、食物アレルギーの原因は卵、小麦粉、甲殻類などさまざまである。保存食の種類、また避難が長期化した場合は</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>炊き出しなどの提供もあると思うが、その際にはこうしたアレルギーへの配慮をどのように対応されるのか。</p> <p>(4)全国的に、知的・発達障害がある方は、災害時の避難に課題があると感じ、避難所などの慣れない場所での集団生活ができなかったり、周囲に迷惑をかけるなどの理由で避難所の利用をためらうとのことである。その場合、福祉避難所は重要な場所になると感じる。対象者への周知や、万一に備えて対象者に事前に施設を視察していただくなどが重要と考えるが、対応はどうか。</p>	
13	14	白築 俊幸 (一問一答)	1. 農業について	<p>(1) 水稻</p> <p>①令和4年度の本市の主食用米の作付け面積は、令和3年度より60ha減少し、1,414haとのことであるが、60haの内、被災田は20haである。残りの40haはどういう状況にあるのか。</p> <p>②周辺地域農業の担い手がリタイヤしていく中、集落の維持自体が懸念される状況にある。各地域で、法人を含めた集落営農で対応されているが、未組織集落に対し、今一度こうした組織化を進める必要はないのか。</p> <p>(2) 園芸</p> <p>①ハウス補助事業について、これまでは、水稻育苗での利用と産直への出荷、または学校給食への提供が採択要件とされていたが、現要項は、水稻育苗は要件となっていない。変更された理由は何か。</p> <p>②米依存からの転換策として、野菜の少量多品目生産は有効な方策の一つであると思うが、これまでの事業申請の件数についての所感を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 地域自主組織について	<p>③補助率は、1/2 の上限 30 万円であるが、検討する余地はないのか。</p> <p>(1) 自主財源の確保について</p> <p>①「自主財源の確保は、収益のための収益活動ではなく、持続性確保のためが前提である。」とされており、地域自主組織が行う収益事業と指定管理料との関係については、最近、自主組織にとって有利な方向に算定するよう見直した、とされている。改正前と後の算定方法を伺う。</p> <p>②かつて、地域自主組織におけるコミュニティビジネスが推奨されていたが、こうした考え方は現在も変わっていないか。また、具体の実施例があれば伺う。</p> <p>③収益事業には、課税問題は発生しないのか。</p> <p>(2) その他</p> <p>①地域自主組織にとって、法人格は必要なのか否か伺う。</p> <p>②先般、地域自主組織と締結された「協働のまちづくりに関する協定書」において、民生・児童委員の推薦に関することが含まれているが、各町に組織されている民生委員推薦準備会との関係は整理されているのか。</p>	
			3. 民生児童委員について	<p>(1) 100 年の歴史を有する民生委員制度であるが、地域包括ケアシステムも整備され、支援を必要とする高齢者・障がい者にとって、必ずしも民生委員に頼らなくても、対応して貰える状況になっている。また全国的な傾向としては、相談支援から訪問活動に移行していると伺っているが、今後の民生委員活動にどのような役割を期待されているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)今年は3年に1度の改選期であり、実質的な選考作業は終わったところと思うが、特に山間部の高齢化した地域では、候補者選別に困難を極めた。3年後は、更に厳しい状況が予想されるが、同様の対応を求められるのか。</p> <p>(3)民生委員は、非常勤の地方公務員で守秘義務を課せられ、業務は地域の情報を行政につなぐまでとされている。しかし、なかなかそこで割り切れるものではなく、行政からは支援に必要な情報の返しのない一方通行の場合もある。支援に必要と考えられる個人情報提供についての見解を伺う。</p> <p>(4)現在、各地域自主組織には、地域福祉推進員が配置され、また各自治会には福祉委員も配置されている。これらと民生委員との守備範囲が曖昧になっており、全体最適が図られていないのではないのか。</p> <p>(5)市内各町で民生委員の活動内容は若干、差異もあるようだが、存続するとすれば、先議会でも質疑があった様に、各般にわたる見直しが必要である。極論すれば、今日的には、民生・児童委員制度の廃止を含めた抜本的な対応も必要と思うが見解を伺う。</p>	
14	3	児玉 幸久 (一問一答)	1. 日本遺産『出雲國たたら風土記』の取り組みについて	平成28年(2016年)4月25日に文化庁の認定を受けている、日本遺産『出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～』(鉄の道文化圏推進協議会：雲南市、安来市、奥出雲町で構成)が、認定地域の総括評価・認定継続審査を受け、他の地域のモデル地域となる「重点支援地域」に選定された。今後の取り組み等について市の考えを伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 立地適正化計画 について	<p>(1) この5年間の取り組みに対する市の総括を伺う。</p> <p>(2) 認定地域の総括評価・認定継続審査結果において、取組内容に関する評価は「可」であったが、計画目標の達成に対する評価は「不可」である。目標が達成できなかった理由はどこにあると認識しているか。</p> <p>(3) 「重点支援地域」にも選定され、今後も官民一体となって、各種取組みを展開していくことが求められるが、その取組体制について、</p> <p>① 「(公財) 鉄の歴史村地域振興事業団」に期待する役割は何か。</p> <p>② 日本遺産の窓口は「鉄の道文化圏推進協議会」であるが、雲南市における官民協働による推進組織としては「雲南市たたらプロジェクト会議」が設立されている。この「雲南市たたらプロジェクト会議」の事務局は政策企画部におかれているが、今後の、取組を強化していく上で、市役所内部の組織体制を見直す必要性はないか。</p> <p>(4) 取組を進めていく上で、市の担当者も現場を知ることが重要であるとする。近代たたら操業に市職員も積極的に参加し体験すべきとするが、市の見解を伺う。</p> <p>(5) 「たたら」は観光振興の観点からも本市にとって重要な素材である。単に施設等を見る観光ではなく、スタディ・体験型の観光、滞在型の観光を推進する上でも、その活用が望まれるが、どのような活用を目指していくのか、市の見解を伺う。</p> <p>現在、策定中の雲南市立地適正化計画においては、都市計画区域内に居住誘導区域と都市機能誘導区域を定めることとなっている。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 自治体 DX の推 進について	<p>この度、案として、木次・三刀屋地域、加茂地域、大東地域に都市機能誘導区域が設定され、その中に現況 33 施設の誘導施設があり、2032 年に 30 施設の維持が目標とされている。人口減少による施設の減少も予想される中、施設の維持・適切な誘導等に対しての市の考えを伺う。</p> <p>(1) 木次・三刀屋地域において、新たに誘導を図る施設として「多世代交流拠点」が位置付けられているが、具体的にどのような施設を誘導する考えか。</p> <p>(2) 都市機能誘導区域内の現況 33 施設を、2032 年に 30 施設の維持が目標として設定されているが、目標設定として妥当か。少なくとも、現況より増やしていくことが必要ではないか。市の見解を伺う。</p> <p>(3) 民間施設の適切な誘導が、大きなポイントとなると考えるが、計画案では、その方向性が見えてこない。新たな民間施設誘導についての市の考えは。</p> <p>(4) 立地適正化計画と公共交通ネットワークの確保は両輪をなすもの。周辺地域(都市計画区域外)と都市機能誘導区域、都市機能誘導区域を含む居住誘導区域内の更なる公共交通ネットワークの充実が求められるが、今後、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>近年、多くの民間企業でデジタル活用による、DX(デジタルトランスフォーメーション)が急速に進んでいる。一方で自治体も 2021 年 9 月 1 日にデジタル庁が発足し、これから自治体のデジタル活用及び自治体 DX の取り組みを推進する動きが全国で活発化してきてい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>る。そこで、雲南市における取組み状況について伺う。</p> <p>(1)雲南市における自治体 DX の取組みは、全国の自治体、近隣自治体に比べ、どの水準にあると認識しているか。</p> <p>(2)本年4月の組織機構の見直しにより、ICT 戦略室を総務部情報システム課に糾合・廃止し、当面は庁内のシステム強化を図っていくとのことであったが、半年経ち、庁内のシステム強化の取組みの現状は。</p> <p>(3)自治体 DX を推進していく上での課題は何か。</p> <p>(4)自治体 DX を進めていく上での課題の一つに、デジタル人材の育成があると思うが、市における教育投資の現状、今後の取組みは。</p> <p>(5)自治体 DX の推進により、どのような行政サービスの充実、高度化が図られていくかを市民に分かりやすく示していくことも重要と考えるが、市の見解を伺う。</p>	
15	16	細田 実 (一問一答)	<p>1. 原子力発電所について</p> <p>2. 雲南市の政策決定について</p>	<p>(1)政府は原発新增設を検討する考えを示した。一方、今年秋完成と説明されてきた青森県六ヶ所村の再処理工場はまたも完成は延期となった。原発再稼働、新增設となれば核のゴミ問題は一層深刻になり後世に負の遺産を残すことになる。島根原発の使用済み核燃料の搬出も大きな問題を抱えることになる。原子力に頼らない社会の実現に向け、こうした事態をどのように受け止めているか。</p> <p>(1)市長の政策決定についてどのような過程を通じ行なわれているか。事業、予算提案に向け庁舎内の議論、連携は充分されているか。</p> <p>(2)例えば、8月全員協議会で説明された「観光庁の事業を活用した</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>施設改修に取り組む民間事業者への支援について」も政策の形成過程やエリアの指定過程など市民が納得できる説明が必要ではないか。</p> <p>(3) 政策戦略会議の開催が HP に公開されているが、審議項目を挙げ決定の結論のみだ。改善し政策決定過程も載せることによって議会での議論と合わせ、市民へ政策への理解も深まり、開かれた市政の実現が出来るのではないか。</p>	
16	15	周藤 正志 (一問一答)	1. 市長の市政運営 について	<p>(1) 当初予算でのマイナス人員や 7 月での大量採用などこれまでに はなかったことである。人事管理ができていないのではないか。</p> <p>(2) 市長が観光協会の会長に就任されたが、一般社団法人である観光 協会設立の経緯や趣旨を考えるとおかしいではないか。</p> <p>(3) 10 月に尾原ダム完成 10 周年記念の集いを開催されるのは結構な ことだが、この間の取り組みをどう総括し、今後の地域振興やダムの 活用策をどう考えているのか。</p> <p>(4) 第 7 波は感染者・死亡者ともに最悪となっており、医療の逼迫が 一段と懸念される。</p> <p>① 情報提供がきわめて限られており、市内の感染状況(年代、家族内 感染等)がわからない。これでは各人の対策がとれないではないか。</p> <p>② 後遺症のある方については、どう対応されているのか。</p> <p>(5) 早急な対応が必要な木次子育て支援センターについて、利用者との 意見交換を踏まえ、いつどう対処するのか。また、先般、観光庁 の事業を活用した民間事業者への支援(市補助金 6,283 万円)が唐突 に示されたが、これと比較すると、市民にとって必要な事業の優先 度の考え方や予算措置の仕方がそもそもおかしいのではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 教育行政の諸課題について	<p>(6) 市民に寄り添う市政運営を掲げられているが、市民目線、市民感覚と乖離していないか。例えば特定健康診査受診券は、字が小さすぎて読めないが目配りが足りないのではないか。また河川浄化のお願いをしてもなかなか対応してもらえないが、維持管理などもっと身近な所に力を入れるべきではないか。さらに、木次の潜水橋の修繕などは要望がでなくても速やかに対応すべきではないか。</p> <p>(1) キャリア教育担当も室から課へと体制強化されている。教育支援コーディネーターの見直しが行われたが、最近のキャリア教育の現状がわからない。キャリア教育の充実・進展が図られているのか。</p> <p>(2) 令和2年12月に「サッカーを通じた魅力ある教育環境創出事業の検討状況」が示されたが、市長の交替もあり、令和4年2月に「松江シティFC株式会社との検討状況」の中で松江シティFC（現FC神楽しまね）との協議中断に併せ、大東公園多目的広場を整備していくとの方針転換となった。この間ほとんど説明されることもなかったわけだが、現状どうなっているのか。</p> <p>(3) 市学校施設整備保全計画では、令和8年を目途に木次中学校は改築、令和9年を目途に加茂中学校は大規模改造することになっている。大事業であり、構想から完成までかなりの年数が必要だがどういうスケジュールで行うのか。教育委員、国、県との協議は始まっているのか。現行体制ではとても進められないが、どうするのか。</p> <p>(4) 地元事業所製造・提供の「ハンドスプレー」がチラシといっしょに市内の小中学生・教員に教育委員会から配布されたが、保護者から疑問の声が寄せられた。教育上、配らなければならないものではないが、教育委員会が配布すること自体、問題はないのか、適切な</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 市長の高齢者対策について</p> <p>4. 肥育事業の今後のあり方について</p> <p>5. 地域経済振興策について</p>	<p>のか。</p> <p>・2025年には団塊の世代約800万人が後期高齢者となり、超高齢化社会を迎える。市長の高齢者対策についての基本的な考えとそれが施策にどう反映しているのか、不明なので伺う。</p> <p>・JAしまねの「和牛肥育事業からの撤退方針」は、しまね和牛がなくなってしまう島根の農業の根幹を揺るがす大問題だ。存続の要望で解決するはずもなく、肥育事業が将来的に存続していく方法、道筋を誰がどうやってつくって実現させていくのか。</p> <p>(1)雲南加茂スマートICが供用開始されたが、神原企業団地の造成と企業誘致をいつどう実現していくのか。また三刀屋木次IC～雲南加茂スマートIC間は有料だが誘致企業(南加茂、神原)に利用されているのか。</p> <p>(2)6,600万円の予算措置をしていた電子地域通貨事業が中止となった。見通しと詰めが甘く、あってはならないことであり、猛省を促す。デジタル化(キャッシュレス化)は地域としては取り組まないということか、また、地域経済と地域コミュニティを活性化させる地域通貨についてはどう考えているのか。その方向性を示されたい。</p>	
17	8	上代 和美 (一問一答)	1. 安倍元首相の国葬について	<p>(1)安倍元首相の「国葬」は国民の中で評価が分かれている安倍氏の政治を、国家として全面的に賛美・礼賛することになる。それは憲法に保障された内心の自由を侵害して、国民・市民一人ひとりに弔意を強制することにつながる。中曽根元首相のときは合同葬であったが、市は具体的にどのような対応をとったのか。</p> <p>(2)今、中止を求める運動が広がっているが、日本の民主主義にかかわる問題として、市は、市民に弔意を強要すべきではない。見解を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 旧統一協会（旧統一教会）について</p> <p>3. 市道の草刈について</p> <p>4. 通学路の防犯灯について</p>	<p>求める。</p> <p>(1)安倍元首相に対する銃撃事件を契機として、旧統一協会に対して大きな社会的注目と批判が集まっている。特に政治家との癒着やそれによる政治への介入が問題になっている。市民や市政への影響などについていくつか伺う。</p> <p>①市消費生活センターへ靈感商法など、その種の被害相談はあるか。 (過去にさかのぼっての件数、対応状況)</p> <p>②統一協会系イベントの名義後援や統一協会系組織からの研修会講師派遣の状況はなかったか。過去にさかのぼって調査すべきではないか。</p> <p>③政治家のみならず、行政が広告塔になってはならない。旧統一協会との関係を持つべきではない。市長の見解を求める。</p> <p>(1)市民が生活していく上で、困難を抱えている大きな問題のひとつに道路の草刈がある。市道の草刈には道路愛護活動で市民の協力を得ているが、特に世帯数が少なく、多くが高齢者となる自治会では「道路愛護はなんとかがんばるが、草刈は一回では終わらない。何とかしてほしい」という切実な声を聞いている。市民の生活道路としての市道の維持管理は市の責任でやるべきだ。見解を求める。</p> <p>(1)先日、地元の方から相談を受け、通学路の防犯灯のランプ付け替えを教育委員会にお願いした。早い対応をしていただいたが、夜の通学路は防犯灯が切れていること、そのこと事態になかなか気づきにくい。子どもたちが安心して通学できるように、年に一回は夜の点検が必要である。教育委員会から例えば地元で防犯灯の位置を示してもらい、点検できるようにするなど出来ないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 原発問題について	<p>(1)8/24、政府は原発の新增設や建て替えは想定しないとした従来のエネルギー政策の基本方針の転換を示した。今回政府が打ち出した原発の推進方針には、最長 60 年の原発の運転期間延長も検討することも含まれている。市は、環境基本条例で「再生可能エネルギーの普及を図ることで、将来的に原子力に頼らない社会を目指す」という方向を示しているが、市の方向性と相容れないのではないかと。市長の見解を求める。</p> <p>(2)岸田政権は「電力不足」を口実に島根原発 2 号機を含む 7 基の再稼働を打ち出している。老朽化していく 2 号機をさらに運転期間延長するとなれば、ますます事故のリスクが高くなる。福島原発の大事故がなかったかのような新たな「安全神話」で原発再稼働は許されない。原発への固執は市が目指している再生可能エネルギーの普及にとっても大きな障害になっている。原発をやめ、省エネ・再エネの普及こそ市が目指す方向ではないのか。市長の見解を求める。</p>	
18	12	中村 辰眞 (一問一答)	1. 防災、減災への 取り組みについて	<p>雲南市を襲った災害から 1 年がたった。今年の日候は近年になく不順であり、北陸から北海道にかけての広い地域で長雨が続き、河川の氾濫が発生。浸水被害も大きなものとなっている。</p> <p>(1)第 17 回水害サミットについて</p> <p>①本年 5 月 31 日に水害を経験した全国の地方自治体の首長が出席した「第 17 回水害サミット」に市長も出席している。このサミットに参加した率直な感想を伺う。</p> <p>②このサミットに参加して、今後の防災対応について参考となる事例はなかったのか伺う。</p> <p>(2)河川の減災対策について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①三刀屋川の三刀屋橋から下流域で工事が行われ、三谷川に対する越水対策は向上していると考え。しかしその上流部、特に飯石川との合流点などはそのままであるが、今後浚渫を行う考えや計画はないか伺う。</p> <p>②河川に対する減災対策が施されると、浸水想定区域が変わってくると考える。ハザードマップの更新時期について伺う。</p> <p>(3)洪水調整池について</p> <p>①調整池の役割について伺う。</p> <p>②造成された住宅団地には、合併以前の旧町村時代のものもある。合併後に造成された住宅団地も含めて調整池の管理はどこが、誰が負うのか伺う。</p> <p>③調整池の現状は、機能不全にあるものから全く問題なく機能を果たしているものまでさまざまである。機能不全を起こしている調整池については、早急な対応が必要と考える。豪雨により調整池から越水し、2 次的被害が起こる可能性もある。防災対策として予算を確保し早急に対応しなければと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4)発災時に迅速な対応をとるための防災訓練</p> <p>①避難訓練等は地域で行われている。昨年のように広い範囲で被災箇所があり、孤立する地域も出るようなことは、今後も起こると想定しておく必要がある。さらに被災地域が広がることを踏まえると、地域で行われている避難訓練も含め市役所を防災拠点とした雲南市総合防災訓練を行い、発災時に迅速に対応できる体制づくりを考えておくことが肝要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(5)AED について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 自然環境保護について	<p>①避難所における AED の設置件数と屋外に設置してある箇所数を伺う。</p> <p>②公的機関に設置してある AED (屋内・屋外含めて) 三角巾が常設してある所があるか伺う。</p> <p>(1)本市はコウノトリが生息し繁殖できるほど、に自然環境保護に対する意識が高いと感じている。合わせて個体が増えるにしたがい生息域が拡大する中で、新たに巣塔も建てられる予定となっている。間もなく出雲市ではトキの放鳥が予定される。両種の保護を目的とし自然環境の整備を行うと同時に絶滅の危機に瀕している他の生物に対しても良い環境となると考える。</p> <p>①本市には数多くの絶滅危惧種及び準絶滅危惧種に該当する動植物の生息が確認されている。自然環境がよくなれば個体数も多くなっていくと考える。ただし現段階では特定の個体を指定して保護対象とすることが肝要である。絶滅危惧種等の保護を目的とした条例が制定されている自治体もある。広く網をかけて保護対象にするのか、個体を指定して保護対象にするのか、考え方はさまざまである。本市の条例に絶滅危惧種等保護に関するものがあるのか伺う。</p> <p>(2)自然環境保護を行う上で切り離せないものが不法投棄である。不法投棄により自然環境は破壊され、希少な動植物の生息を阻むこととなる。更には、人間に対しても悪影響である事は過去の歴史が物語る。</p> <p>①不法投棄については県市の担当部署からの情報と、地域の方からの情報をもとに調査をしている。状況的に見て不法投棄がされている場所は環境崩壊を起こしつつあるように感じている。不法投棄に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 障がい者スポーツへの取り組みについて	<p>対しての取り組みを強化することで絶滅危惧種等の希少生物の保護につながると考えるが見解を伺う。</p> <p>②不法投棄されている場所は官地、民地それぞれである。官地に対しては行政として対応できると思う。民地の場合、行政としてどのように対応するのか伺う。</p> <p>(1) コロナウイルス感染症の影響により 1 年延期された東京オリンピック、パラリンピックは無事に開催された。さらにデフリンピックも昨年開催されている。そして本年 11 月には広島県でスペシャルオリンピックの夏季ナショナルゲームが開催予定である。</p> <p>①障がい者スポーツについては、教育委員会や身体医学研究所等で取り組むとされている。コロナ禍でスポーツ等のイベントが中止、延期となる傾向があり、障がい者が運動をする機会が減少している。現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>②障がい者スポーツに対しての理解促進のためには、体験をすることが一番だと考える。特に小中学校の児童生徒に対してユニバーサルスポーツやユニファイドスポーツを体験できる機会ができるとういのではないかと考えるが見解を伺う。</p>	